

## 公共交通機関の利用促進

## 公共交通機関利用促進のための支援

## ■利用者ニーズの把握

【継続】交通政策部

有識者、高齢者・障がい者団体、施設設置管理者及び地方自治体とともに「各県バリアフリー等地域連絡会議」を開催し、移動等のバリアフリー施策推進のための情報共有と意見交換を行い、高齢者・障がい者等の利用者ニーズの把握に取り組んでいます。

## 【27 年度実績】

平成 28 年 2 月 16 日に「岡山県バリアフリー等地域連絡会議」を、平成 28 年 3 月 23 日に「山口県バリアフリー等地域連絡会議」を開催しました。

## 【27 年度実績に対する評価】

岡山県会議では、「障害への理解、サービスの是正等」について、山口県会議では、「施設の整備等」についてバリアフリーに関する利用者からの要望や苦情に、どのような対応を行っているか、あるいは、どのように対応すれば良いのか等の意見交換を行いました。

双方の会議ともに連絡会議として、意義のあるものとなりました。



【岡山県バリアフリー等連絡会議】

## 【28 年度施策】

島根県と広島県において、バリアフリー等地域連絡会議を開催し、引き続き、地域のニーズに応じたバリアフリー化を目指して取り組みます。

## 公共交通機関の利用促進

公共交通機関利用促進のための支援  
 ■各種イベント等を通じた公共交通利用促進の啓発  
 【継続】交通政策部

「バスの日」などのイベントや交通事業者が独自で行う交通教室等と連携しながら、広報啓発活動を行い、公共交通の利用促進を推進しています。

## 【27年度実績】

広島県では「ひろしまバスまつり」などのイベントを利用して、バスに関心を持ってもらうため、来場者に対してマナーアップチラシやグッズ配布を行いました。

また、高齢者の方へ車内転倒防止教室や就学前の保育園児に対し、バスの乗り方教室を行いました。

岡山県では、小学生を対象にしたバス教室を9回開催し、バスの乗り方や交通安全を学んでもらいました。

また、高齢者の方に対し車内事故防止のバス教室を開催しました。

山口県では「やまぐちバス博」において乗り方教室を開催して、公共交通の利用促進をPRしました。

また、自治体と連携し、小学生を対象にしたバス教室を3回開催し、バスの乗り方や交通安全を学んでもらいました。



【やまぐちバス博】

## 【27年度実績に対する評価】

昨年度に引き続き、イベントを利用した利用促進活動や小学校などに出向いて実施するバス教室等が開催され、また、交通事業者においても実施されるなど、広がりを見せています。

## 【28年度施策】

山口県が「みんなが利用したくなる生活交通推進会議」の枠組みで取り組んできたバス教室が広島県など他県にも広がってきたことから、これらの枠組みを利用して公共交通の利用促進の啓発活動を進めます。